

発行：別府市水道局
発行部数：5,000部
所在地：別府市大字別府字野口原3088番27
電話：0977-23-0361（代表）
URL：http://www.city.beppu.oita.jp/suido



災害時は
自助・共助・公助が大切！



スイッキー
別府市水道局公式キャラクター

もはや他人事ではない！ 災害への準備を

数多くのニュースのうち、特に世間を震撼させたのは“**自然災害**”だったのではないのでしょうか？

地震では、**大阪府北部地震**（6月18日・震度6弱・M6.1）、**北海道胆振東部地震**（9月6日・震度7・M6.7）が発生しました。



大阪府北部地震



北海道胆振（いぶり）東部地震



平成30年7月豪雨



ゲリラ豪雨

風水害では、**台風7号**に起因・西日本を中心に甚大な被害をもたらした**7月豪雨**、日本を縦断した**台風21号**、**台風24号**。

また、突如として道路を冠水・交通機関などに影響を与える**ゲリラ豪雨**が度々発生しました。

一瞬にして、私たちの日々の生活を一変させてしまう**自然災害**。

幸いな事に、今年別府市において大きな被害は発生していませんが、皆さん、**忘れてはいませんか？**「平成28年 熊本地震」の事を。災害は、いつ・どこで発生するかわかりません。

災害に備えた**各家庭でできる準備**や**水道局の取組み**について、御紹介します。

災害時 本当に困るのは…。やはり **水回り** ～ 民間によるアンケート結果 ～

被災した地域の方々を対象に“被災直後、実際にどんな事に困ったか？”との民間によるアンケート結果を見てみると、

- 第1位 **飲料水の確保・持ち運び**（40.7%）
- 第2位 **携帯が繋がらない・連絡ができない**（38.6%）
- 第3位 **食料の確保**（37.7%）
- 第4位 **生活用水（トイレ・入浴・洗濯）**（34.6%）

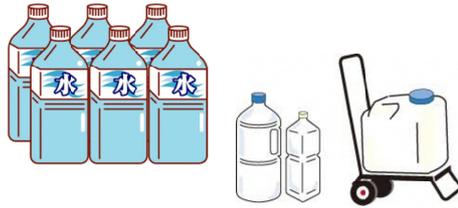
となっており、いわゆる“**水回り**”への被害が深刻であったことがわかります。

また、**水が出ない**ことによって、衛生面が保てず**ストレスが溜まる**といったケースも多いようです。



自助による備えが重要！ 1人1日3ℓ × 3日間 必要です!!

先程のアンケートにもあったように、**ライフライン**（電気・ガス・水道など）の中でも、特に**水道**は、日々の生活の中で**必要不可欠**であるといっても過言ではないと思います。



給水車などによる応急給水活動をテレビなどで見かけるとは思いますが、応援体制が整うのは、**災害発生から早くても3日後**です。では、この3日間をどう乗り切るのでしょうか…。

自助による飲料水の備蓄をお願いします。同時に、**給水ができる容器**（持ち運びしやすい取手の付いたポリタンクなど）を御準備ください。



Q. なぜ、1人1日3ℓ（生活用水は含まれていません。）なのか？

A. 私たちは普通に生活しているだけでも、1日に約**2.5ℓ**（尿・便＝1.6ℓ、呼吸・汗＝0.9ℓ）もの水分が失われています。これを補うために約**3ℓ**の水分が必要とされています。

もちろん、**季節**や本人の**身長・体重**にも大きく関係しますので、**注意が必要**です。

公助による備え！ 災害支援 や 災害対策 を行っています!!

水道局では“**災害に強くたくましい水道**”を目指して、順次、**水道施設の耐震化**などを実施しています。

しかし、近年の災害は“**想定外**”や“**数十年に一度**”などと表現されるように、**対策を施してもそれを上回るケース**があります。

大規模な災害が発生した場合は、**水道事業体間**での相互扶助として、応急給水などの支援を行う**災害協定**を締結しています。



昨年9月に発生した台風18号により、河川が氾濫し、断水となった**津久見市**へ職員（延べ30名・10日間）を派遣し、**応急給水活動**を実施しました。

今年7月に発生した豪雨においても、フェリーを利用し、**愛媛県大洲市**へ職員（延べ64名・13日間）を派遣し、**応急給水活動**を実施しています。



水道局では、災害時に備えて無線による伝達訓練や応急給水・復旧訓練を行い、また、今回新たに“**折りたたみ式給水タンク**”を購入し、給水活動を強化しました。

災害時では、**自助・共助・公助**、そして何より**支えあう関係づくり**が大切です。